

令和6年度市政懇談会 北部地区 議事録

○日 時：令和6年7月10日（水）19：00～20：50

○場 所：文化センター中ホール

○参加者：

- ・一般参加者 87名
- ・市議会議員 池田副議長、綾香議員、大村議員、近藤議員、辻議員、針尾議員、松口議員、山内貴史議員、吉住龍三議員、吉福議員
- ・理事者 市長、副市長、教育長、統括監、総務部長、企画課長（財務部長代理）
市民生活部長、福祉部長、文化観光商工部長、農林水産部長、建設部長、教育次長、水道局長、消防長、病院局長

○テーマ：

- (1) 地域課題について
 - ・空き家問題に対する取組
 - ・「ゼロカーボンシティひらど」の実現へ
 - ・さらに便利な市役所へ（DX推進）
 - ・地域医療の再構築に向けて
- (2) その他

○次第：

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 職員紹介、議員紹介
- (4) 内容説明（パワーポイント使用）
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

○議事録：

質疑1

【発言者】

外国人の靖国神社への落書きや川口のクルド人問題等の昨今のニュースを受けて質問します。外国人の移住で、生活保護をもらって空き家バンクを利用したり、平戸市に入ってくるということは現在あるのか。そういう問題があるのならどういう対策をしているのか伺いたい。

【企画課長】

私の把握している限りでは、外国人の移住でそういったケースはなかったと思いま

す。

質疑2

【発言者】

持続可能なエネルギーということでソーラーパネルこちらの補助金が出るのは分かっていますが、宇久島とかメガソーラー問題が結構話題に上がるんですけども今平戸市ではそういったメガソーラーの建設計画予定もしくはそういった話題ではあるのかお聞きしたい。

【市民生活部長】

今のところ、ございません。

質疑3

【発言者】

2年ほど前に平戸に引っ越してきて家を買いたいなと思っていますが空き家バンクに掲載されている物件数が少ない。

この資料では、1000件以上の空き家があることになっているんですが、空き家バンクに登録されている件数は数10分の1ぐらいしかないように思うし、同じ物件がずっと掲載されているようで動きがない。どうして空き家バンクの掲載件数が既に存在しているとわかっている1000件以上空き家に対してこんなに少ないのでしょうか。また、空き家バンクにずっと掲載されたままずっと残っている空き家について何か対策というのをお考えなのか教えていただきたい。

【建設部長】

おっしゃっている1,000件というのが私の把握しているところでは分かりませんが、先ほどの市長が説明した資料に記載されていますが、173件が空き家バンクとして登録した件数になっています。そのうち、賃貸とか売買として成立したのが103件となっています。ご本人が掲載をやめない限りずっと掲載されます。なぜ残っているのかということやはり地理的なものとか、希望に合う物件ではないとかっていうので実際残っているものです。

【発言者】

資料にある推定空き家の推移というところで、空き家数が令和6年度1,680戸ぐらいとあるが、これは推計空き家ということで実際に所在の確認をした空き家ではないということですか。

【建設部長】

この1,680戸というのは、あくまでもコンサルが調査をして外見を見て空き家という形で調査をしております。令和3年の調査の折に、地域空き家という判断した家屋について所有者に対して、全てアンケートを出させていただいております。その中で

やはり1年に1回帰ってますよってというのはもう明らかに空き家から外してるというような状況です。完全に空き家というのをはっきり把握できるかは、なかなか中に入って状況を見ることもできませんのでそれを推定（空き家）という形で掲載させていただいております。令和5年に、まちづくり運営協議会の皆さんと協力して地区の区長さんたちとの協力を得てですね、地区の方が一番分かっているのので、空き家になったよとか、解体されたよというような情報を提供していただいてより近い個数を把握していくという形で今取り組んでいるところです。

【発言者】

分かりました。先ほどの空き家バンクの話でいつまでも残っている物件の話に戻りますけれども、確かにあれはですね、なかなかその条件を折り合わせるには難しいものが非常に多いのではないかなと思っています。空き家バンクに登録されている方も早くその空き家を流通させたいとお考えだと思いますのでもっとスムーズに流通させる上で何か市の方から何らかの条件等が必要なのではないかなと思いました。

質疑4

【発言者】

食用油の回収場所の件は、市役所本庁ということで普段平日仕事しているので持つて行くのは難しいんです。北部公民館を追加するっていうのも可能でしょうか。

【市民生活部長】

市民の皆さんの利便性の向上のためにも、なるべく回収会場については増やしていきたいと思います。

質疑5

【発言者】

6ページに管理不全空き家と特定空き家の認定件数が11件と7件とあります。こちらに関しては勧告を出せるということなんですけど、こちらはもう勧告を出しておられるでしょうか。また勧告を出した後スムーズに空き家が解消されたという例はあるのでしょうか。

【建設部長】

勧告までには至っておりません。指導も勧告も手続きがあるんですけど、まずはやはり個人の財産ですので、所有者に管理していただくっていう形で、やはり今の現状をお知らせしたりとかですね、相続者全員を調べて全員に郵送したりということで個別に解決していただくという方法を現在っております。

質疑6

【発言者】

マイナンバーカードは安全ですって言い切れるのかなと疑問があるんですけども、平戸市ではマイナンバーカードのトラブルとかはないとおっしゃっていましたが、国に情報を吸い上げられるものだと思っておりまして、今の政府はその情報を渡さなくても、例えば他国に取られる可能性を考えると、ゼロではないのかなと思うので、安全であるという根拠ってというのはちょっと薄いのかなと思うんですけどもそこら辺はいかがでしょうか。

【市民生活部長】

お尋ねのマイナンバーカードにつきましてはICチップというのが裏についているかと思えます。これ自体には保険証情報とか医療情報等いろんな個人の情報が入っておりません。ご心配されます紛失盗難の場合はいつでも一時利用停止ができますし4桁の暗証番号がございますけども、通常一定回数を間違えますとロックされるような仕組みになっておりますのでご心配不要ではないかと考えております。

【発言者】

ICチップの確認ってというのは平戸市そのマイナンバーカードを使う店舗で、店舗や病院は毎回ICチップで確認はできている状況でしょうか？

以前どこかの議員の方がICチップの確認なしで本人確認をされて、スマートフォンの購入をされたりとか、クレジットカードでの買い物がされたりしていました。それを扱っている店舗や病院があれば、確実に最終チップで確認できている状況なのか知りたいなと思いました。

【総務部長】

ただいまの質問ですけども、趣旨がよくわかっておりませんが、今もう既にマイナンバーカードを使ってですね、病院の診療を受けられたりってというのはかなり進んでいると考えております。その中で読み取れないような、そういったお話というのはない状況です。質問に対するお答えになってないかもしれませんが。

質疑7

【発言者】

医師少数スポットについては、医師が不足していることを指していると思うんですけど、不足ってというのは、例えばその地域の人口当たりどれぐらい医者が必要なのかというそういう数値的なものが基準になるものがあるものかどうか、説明をお願いしたいと思います。それと生月病院、これが築43年ということですけど今後、建て替えとかそういうものが計画されているのかお尋ねします。

【統括監】

まず一点目の、何か数値的な基準があるかということでございますが大前提として、

どの病院も定員というのを、県の方に届け出ておまして、基本的にその定員が満たされていないところ、そういったところについて状況を県の方が審査をして、やはりやむを得ないというふうなところが、このまず医師少数スポットの対象になってきますが、先ほど説明があった通り、どこでもそうなるというわけではなくて、特に医療が十分でないところ、そこから1時間以上かけないと二つ目の、例えば宮の浦だったら、市民病院が医師が不足していたら次の柿添病院とか青洲会病院に行かなきゃいけない、それが1時間以上かかるというところに限って、医師少数スポットと認定されてそうなってくると、初めて市民病院に1名とか2名の医師が派遣されるような仕組みになっております。

生月病院の建て替えにつきましては、まだ公式に平戸市として建て替えの結論は出ておりません。ただし、もうその時期には来ていることは間違いない。そういう中で建て替える場合に病院として残そうとするのか、診療所として残そうとするのか、そういったことも踏まえてこれからいろんな関係者の方々と検討会を作って検討していくとそんな状況でございます

【発言者】

私が質問したのは、基準的なもの、例えば市民1万人に対して医師がどれぐらい必要なか全国的なものが、ちゃんとした数字的なものがあるかっていうのを質問したかったんです。

【統括監】

全国的な基準で運用されているものではなくて、あくまでも長崎県内、長崎県の補助制度でございますので、長崎県内で特定の個々の医師が不足する病院について、それぞれ先ほど申し上げたように、地理的な状況をしっかりと県の方でヒアリングをしてその要件に合致する場合、初めて医師少数スポットとして認定されるということです。そのような条件に該当するのが今のところ長崎では平戸市だけだったということになっております。

質疑8

【発言者】

大変根本的な話ですが、地域課題非常に深刻なものたくさんあると思うんですが、その中でここに四つあげられているんですけど、その中のそのゼロカーボンともっと便利な市役所っていうのがどういう基準で地域課題に選ばれたのかよく理解できていないんですよ。どんどん人口が減っていく中でそれで本当に優先事項ですかこれは。それから便利な市役所、これもマイナンバーカードを保険証にということで、そちらの方は多分問題になるんですけども、今更求めてもしょうがないんじゃないかと思うんですけど。それよりもっと大事なことがたくさんあるんじゃないかと思うんですけど、この四つを選ばれた理由をお聞きしたい。

【市長】

いくつかテーマを絞ってこれまで市政懇談会をずっと続けてきたわけですが、今回この四つを取り上げましたのは、いずれも市民の皆様方の協力をいただく必要があるということで、情報共有の観点から今回選ばせていただいたところです。確かに他にもいろいろな課題はありますけども、まずは市役所の庁内において組織横断的にやっている課題の中で、いわゆるゼロカーボンシティは環境問題の件と、それから自治体DXをどうやっていくかというのはもう窓口がいくつも多くの組織がありまして、これを何度も何度も繰り返し政策を構築していっております。その段階で、いずれかこの成果物というか、これまで取り組んできたもの、これからやろうとしていることを市民の皆様との情報共有をしないと意味がないよなということで今回この市政懇談会を通してゼロカーボンシティとDX推進のご説明をさせていただいたところでありまして。それ以外にもたくさん問題はあるということは認識しておりますがまずは今日情報の共有という意味でご提示させていただきました。

【発言者】

どのぐらいの利益になるかっていうことで考えていただけたらと思うんですが、例えばゼロカーボンシティもいいんですけども、一体どれぐらいのエネルギーを使って今カーボンニュートラルにどれくらい近づいてるのかみたいなことは全然説明がなくて体裁的な話をされてもあんまり面白くないし、進んでいるのかもよくわからない。

それから先ほどセキュリティの話もありましたがわざわざ本当にそのマイナンバーカードが必要なのかっていう議論もあるようなところで、平戸市に対するメリットもないような状態で、ここで情報交換してもしようがないんじゃないかというのが私の意見です。

【市長】

ご意見ありがとうございました。ただ、いずれにしても行政がいくら計画を立ててそれを行政主導でやったとしてもですね、いわゆる環境問題というのは市民1人1人の心構えとか、あるいはこのバイオディーゼルの推進についても、ご協力がないことには実現できません。加えてこのDXについても今後いろいろなサービスが個人に対してやり取りをする中で、いちいち郵送で送ったり、その返信をまたもらったりする時代からリアルタイムで迅速に的確にいろんな交付金とかいろんな手当とかそういったものをやっていく行政業務が前提となります。今後公務員の数を増やせるわけでもないこともありますし、できるものはどんどんと先進的にこれに取り組んでいって便利な、そしてこれが良かったと言われるような暮らし作りをサポートする、そういった仕組みとあって今回ご紹介させていただいております。

【発言者】

マイナンバーカードがなくてもマイナンバーをちゃんと認識してる場合、市長がおっしゃられたようなことはシステムとしては実現できるはずのことです。それはまたやり方によって簡単にできることがあるはずなんです。無理やりカードを使おう使おう

うというふうにしか見えないんですけど。

【市長】

その通りだと思います。説明でも申し上げました通り、カードじゃなくてももう携帯にそのマイナンバーを登録する時代になっていますから、それでもいいのかと思いますが、ひとまずはそのカードという媒体を通じていわゆる利便性の共有を図っていくことが大事かなと思って進めているところでございます。

質疑9

【発言者】

ゼロカーボンですが、こちらのお話を聞く前に、自治体の排出量カルテの平戸市の部分を確認しました。そもそも平戸市は二酸化炭素排出量がそれほど多くないという現状がありますが、やはり大きいのが、運輸部門と産業部門からの排出量ですね。こちらで非常に60～70%は排出量があったかと思うんですけども、なのでもちろん家庭における排出の削減も重要ですが、まずは運輸部門と産業部門における排出量削減というのも急務かなとこちらが課題なのかなと思ひまして。

平戸市には大規模なホテルが何件かあったりしますけれどもそういうところに省エネ機器の導入であるとか、もしくは公共設備それこそ病院であるとかもしくは市役所へのそのような省エネ設備、再エネ設備導入であるとか断熱改修といったようなことについてはどれくらい施策として進めておられるのかなと思ひまして教えていただけないかと思ひます。

【市民生活部長】

非常に貴重なご意見だと思います。現状といたしましてはおっしゃった取り組みは現在ありませんけれども、ご意見を十分参考にさせていただきたいと思ひます。

【統括監】

事業者さんに対する取り組みの支援っていうのは、平戸市独自の部分としてはなかなかできないところでございます。ただ先ほどご説明がありましたが、化石燃料を使わずに家庭等から出る食料油を再利用して使うこれによって化石燃料は減るわけですね。これもゴミ収集車等の燃料として今活用している。こういった意味ではこれは運輸部門における平戸市独自の取り組みだと思っております。長崎県でこれをやっているところはそう多くないと思っております。また、今年度から大規模にやろうと考えているのが、体育施設などの公共施設の電気をLED化していこうと省エネ省電力にしていく取り組みを強化しております。

【発言者】

平戸市は、災害が多い地域でもありますので台風等の災害もありますので、防災という観点からも、公共施設等の再エネ設備導入や断熱改修などは非常に有効なのではないかなと考えたところでした。ありがとうございました。

質疑 10

【発言者】

「平戸の美しい自然を後世に残していくために」とあるのですが、陸上に太陽光パネルを敷き詰めるといのは、美しい自然とは真逆のものになってくると思うのですが、太陽光パネルを敷き詰める敷地の制限とか、平戸市で太陽光パネルはどれぐらいの面積までOKかそこら辺ってというのは決まっているのでしょうか？

【市民生活部長】

市の景観条例に抵触するか関係するかどうかっていうのを検討した上であとは民間の業者さんが進めていくわけですが、法が厳しくなりまして設置する場所の地区の同意を得るために十分な説明が必要ですよというように法律が変わっております。そこら辺が十分かという確認は私達の責務として掲げているところです。

【発言者】

そこの地域の自治会がOKであれば平戸市としては特に口を出すことはない？例えば、明らかにおかしい、自治会は反対しているけれど無理やり施設説明会でも何かYouTubeなどで見ると、説明会などでは、でたらめな説明会をやって住民の理解を得られずのまま太陽光パネルを敷き詰めてそういった事例も見聞きますのでそこら辺は平戸市自体がストップをかけるとそういったことはあるのでしょうか。

【市民生活部長】

住民側からお話はまだこちらに入ってきておりませんので、もしもそういうことがあれば十分お話を聞いた上で対応しなければならないと思っております。

質疑 11

【発言者】

西九州道にはトイレが少ない。西九州道に乗る前に平戸市の方にトイレを作ってもらえないかでしょうか。次に、市役所（駐車場）のトイレがなくなりましたが建て替えはしないのですか。その辺の行政手続きはどうなっているのでしょうか。

【市長】

前段の西九州道について現状の報告をいたします。

最初からこの国土交通省の考えというのは、無料区間においてはその料金所がありませんから降りる登るが自由にできる。無料ですから。従って各出口の普通の道路にちょっと行きますとコンビニがずっとある。ですからトイレをしたい方は最寄りのインターにコンビニがあるからそれでいいんじゃないかというような考え方だったと思います。でもおっしゃるように、そんなわざわざ降りるの嫌だなという要望があることから、現在、関係自治体ではですね、この無料区間のいわゆる糸島から平戸インターまでに休憩できる施設をお願いしたいという要望はやっているところです。

ご提案の平戸インターの付近に作ってほしいというお話ですが、平戸インターは佐世保市に属しますので、こっちからちょっと税金を取りつけることが難しいかと思われま
す。インター付近にそういった休憩場、駐車場があるといいなという声を聞いており
ますが、佐世保市ともですね、協議しながらどのような機能をインターに持たせるか、
これは協議していきたいと思っています。

【総務部長】

市役所のトイレの件でございますけれども非常に老朽化が進んでいたというところ
があって、解体をするのか、建て替えるのかという議論を庁内で行ったところです。
公衆トイレにつきましては新たに作らないという方針を市役所内部で立てておりま
した関係もあり、協議の結果建て替えの方針には至らなかったということで解体され
ているという状況です。

【発言者】

平戸市の人口も減っていることですし公衆トイレは交流広場の方にありますから
それはそれで結構でございます。ただ西九州道については、これだけ道がまっすぐな
って平戸大橋のところまでできて、どこでトイレをしたらいいのかっていうことですね。
国会議員の方にも要望をしていってほしいところです。

質疑 12

【発言者】

私は、市民の生活を大事に考えた行政政策が行われているのかということを中心
にお話をさせていただきます。平戸城から城泊とか、サテライト事業またレストラン事
業、最近ではDMOという事業、また空き家を利用したアルベルゴディフーズという
事業が観光政策として多額の金額を使ってされていまして、それは国の補助金または
市の助成もあろうかと思えます。しかし本当にびっくりするようなお金が今使われて
いるのが現状であります。そういう中には皆さん方がトイレの問題もお話がありまし
たけれども私自身が今感じているのは、市民の生活をですね、まず第1に安心安全な
生活ができるような、そういう地域環境作りが今の行政には必要じゃないかと思っ
ております。

ひとつは、高齢者にとっては、車の運転ができない、交通アクセスが悪いという現
状があります。高齢者に対する対応策として周遊バスの運行はできないのでしょうか。

あと2番目ですが、新聞でもテレビでもマスコミで報道されていますが、事件の解
決の第一歩はですね、防犯カメラなんですね。今の防犯カメラの設置状況それをまず
お聞きしたいと思います。合わせて、今後設置する考え方があるのかお聞きしたい。

3点目に、自然災害に対するインフラ整備これについてちょっと質問させていただきます。
特に戸石川と鏡川という二つの川が流れております。明日からまた雨が降り
ます。以前冠水があったところもあります。今後それ以上の冠水被害を受ける可
能性が高いのではないかなと思っています。

これは県事業だから県にされればいいということじゃなくて、市民の安心安全を第

1 と考えて県の河川であれ市の方が積極的に取り組んでいただきたいと思います。また、避難所のことですが、高齢者の方が避難したけれども、避難所に非常に不満を持っております。高齢者の意見とか、アンケートを取られて安心して避難できる場所の確保をしっかりとやってもらいたいなと思っております。

【総務部長】

まず周遊バスの運行についてのお話でしたが、確かに買い物に行かれる高齢の方が困っているというようなお話は、私どもも聞いております。交通対策としてどういったことが実際にあり得るのかということについて日々検討している状況です。けれどもまだ具体的にこうやろうというようなどころについては非常に規制等々が多くて答えがみつかっていない状況です。けれども現状は把握しておりますので、何とか皆さんのお知恵を借りながらです検討していただければというふうに思っております。

それから防犯カメラを市の方で設置するというようなところでございますけれども、現在はその計画はございません。

また、避難所に対する不満のお話でしたが、確かにおっしゃったようにアンケートをとったりというようなご意見の聴取をしたことがございません。それぞれご不満があるんだろうというところについては見受けられるところもございましてアンケートのとり方についてもしっかりと検討していきたいと思っております。

【建設部長】

戸石川、鏡川につきましては下流部においては県の管理の二級河川という位置づけになっております。戸石川について私が記憶する中では、かなり前に、浚渫計画が上がっておりました。現在の川底を一部持っていくという計画をしておりましたが、なかなか実施に至らなかった。なぜかわからないんですけど、一応計画上がっていたけど、浚渫がされなかったというふうに確認しております。おっしゃられるように戸石川、鏡川については満足しているような状況ではございません。まずそれが何でわかるかというと亀岡上町線に二つの橋がかかっております。税務所横と郵便局横に橋がかかっているんですけど、断面が足りないためにかまぼこ型になっているのを見ただけであれば、河川断面が足りないんだなというふうにわかっていたのかなと思っております。それをどうするかというのが、なかなかその家がありまして用地の相談とかいろいろ複雑になってきますので、県の方に要望しても実現できていないというのが現状かなというふうに思っております。

ただ地元の方からもですね鏡川の上流の普通河川の方におきましてダンジク等かなり生い茂っているということで要望が出ておりました。昨年より単独事業において、ダンジク等の伐採等を行ってなるべくその阻害する物を除去するっていうのはやっておりますので、またそういった鏡川、戸石川の対策になるような要望を出していただければ対応していきたいと思っております。

【発言者】

市民の皆様方が安心できるような生活環境の再生というものも取り組んでいただきたいと思います。

なかなか市民の 1 人ひとりの皆様方が声に出して言えませんのでこれちょっと代弁で表してもらっておりますけども私自身もそう感じております。先ほどの駐車場のトイレの場合もそうですけど、作らないようにしましたという方針じゃなくてですね、なくす前に利用者がどういう状況であったのか、検証をして必要性があるならやはり作るべきだと思いますのでそれは行政としての市民側に立った政策というのをしっかりとやっていただきたいと思います。

【市長】

ありがとうございました。冒頭に観光政策であるとか観光協会と民間団体ですが、DMOを形成していることに対してそっちに多額の予算があつて市民生活がおろそかになっているというご指摘ありましたけどもその辺の情報がよくわかってらっしゃる方からの発言かと思えます。

ただこれはですね、決して市民生活の予算を削って観光に持っていったわけではございません。DMOを構築して、そして新たな取り組みをするところに官公庁からお金が来るといふ国からの流れでありまして、受け皿を作っているということでございます。ですからそれはそれとして、本市としては市民生活に密着した政策についてはきちんと財源を確保して取り組んでいくことといたしております。

防犯カメラの設置についてこれを積極的に行政がやるというのは、ある意味監視社会的なものを作ることでなかなかこれも理解が得られるのは難しいことでございますし、実際テレビ等で防犯効果のある防犯カメラは、民間の方がつけられたもの、あるいは金融機関の病院がつけられたものを利用していたり、あるいは警察当局がつけたもの、それから市としては平戸大橋を通過するとき車のナンバーまできちっと記録することができておりますのでそういったことを活用しながらの体制作りになると思えます。

一方どこに何箇所つけてるのかっていうのはこれはある意味公表されてないんだと思えますね。それはあまりいたずらに公表しますと、悪いことをする人にとってはそこを避ければよいという戦略ができますので、多分これは非公開だと思っております。

きめ細やかな周遊バスの手配というのも、民間バスが周遊しているところに公共バスを通わせるっていうのが旅客運送法上新規のルートは難しいということです。公共バスが通ってない中南部においてはコミュニティバスとかふれあいバスで対応しているのでそういったものでカバーしている、あるいは高齢者にとってはいきいきお出かけ券というのを 1 万円規模でお出ししてその利用を促進するという形で対応しているところであります。いずれにしてもきめ細やかな行政サービスをできるところまではやりますが、あまり個別に行きますとこれはもう多額な経費と格差が出てきてしまってそれを助長することはできないということでもなかなか難しい判断もございます。しかしながら、広く皆様方のご意見を受けとめて対応を考えていきたいと思

っております。

質疑 13

【発言者】

岩の上大橋からスピリッツへの道の渋滞対策について県、市の建設課、区長も同席して要望しているがその後の進展はどうなっているのかお聞きしたい。また、スピリッツから川内方面に行く道と市街地側に右折する部分でも渋滞が発生しているので対応してほしい。

【建設部長】

今のスピリッツの交差点の多分右折帯の要望だったと思うんですけど私もそのとき同席させていただきました。問題点は県の方も十分把握されておりまして、将来において必要ではないかということで認識はしております。

現在、岩の上大橋から平戸大橋公園の道路を1車線増やす改良工事に着手しております。平戸大橋を渡って岩の上大橋までの車線を2車線にするという計画で実施しております。まずはそちらの工事を優先してやっていくというふうに県の方から聞いておりますので同時にはなかなかできないことで、一応そちらが終わってからということになっております。もう一つは明の川内から木引の方にトンネルを計画しております。これは中南部、生月のほうから早く県庁の方に行けるとということで時間短縮ということでトンネルの計画をしておりまして、そちらの工事にも着手しているということになりますのでどうしてもそちらの2ヶ所の工事をまず優先して県の方としては進めていきたいということで伺っております。先ほど言われました右折渋滞の要望についてはもう少し待っていただければと思います。

信号機の制御ですが、公安委員会の方の管理になりまして平戸警察署等が管轄で、時間とか交通量によって制御をしているというような状況でございます。気にかけてされると思うんですが、なかなかその時間帯でそれに合致しないという部分が出てきているのかなというふう思います。その分については警察の方にも情報提供していきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

【発言者】

スピリッツの方の3車線の土地の買収は進んでいるのですか。

【建設部長】

その部分は全く着手していないので測量も実施していないですし、買収もしていません。今後進捗を見て要望していきたいと思っております。

質疑 14

【発言者】

商店街はほとんど人が通りません。お店をしても平成元年の売り上げの 20 分の 1 ぐらいしかございません。どんどんお店がなくなって歴史のあるお店がなくなってしまって入り込むお客さんがどんどんいなくなっています。商店街が今のままだとこれどういう状態になるんだろうかと思っています。10 年前に、宮の町の方を埋め立てでもして 100 台分の駐車場を作るというアイデアを出しましたがすぐにはできないという回答をいただきました。その時に、崎方町の 2 時間無料の駐車場の状態をしばらく観察する必要がありますということでしたが、その後の回答は全然ありません。その後、バスの駐車場をカットしたのか、11 台くらい増やされていますが事情を地元は聞かされていません。西九州道が通って車が来た時に平戸の街を見たい人が車で入って来られるかなという心配をしております。

【建設部長】

交流広場駐車場の件ですけど、おっしゃったように一部芝の部分と広場の部分を利用して普通車を増やしております。これに一つは主な理由としては、まず休日に満車状態になって入口に車両が待機してしまっていたことの解消という点と、駐車場料金が増えないことでの経営面の見直しで少し改善できないかということで加えさせていただいております。

今のところ増やしたことによってスムーズに車の回転率も上がって前ほどは渋滞してないというふうに聞いております。観光バスについては従来 7 台駐車できるスペースがございました。その一部を普通車の方に振り替えておりますので、現在は 4 台が常時止められるスペースを確保しております。これは過去の利用状況を見て、4 台が多いということで確保しております。今後の運用の仕方として、観光協会にバス会社の方から事前に今日 10 台来るけどというような連絡いただければ、普通車用に増やしている部分を、バス用に置き換える対策を取ろうと思っております。

また正月とかお盆なんですけど、観光バスがまず来ない時期がございます。里帰りで年末年始とかお盆の時期は混み合っているという情報もありますので、逆にバスのエリア全て普通車両用にして、さらに 18 台普通車を止められるようにして、年末年始お盆に関しては離島の帰省客の方の利便性を向上するという形でいこうというふうに考えております。

質疑 15

【発言者】

一つは、交流広場の駐車場の件で、離島の人たちが 4 日から 1 週間くらい停めるので、店を利用する観光客等が止められずに困っています。

二つ目は、漁場再生です。漁業者は頑張っているのですが、もう少し補助金が国からもらえるようにしていただきたい。

【建設部長】

駐車場の件ですが、今年度から盆正月については、従来バスの駐車エリアも全て普通車のエリアに切り替えますのでそれで 18 台さらに増えるという状況になります。全体で 87 台止められるようになりますので、その状況を見させていただきたいなというふうに思っております。離島航路利用者の駐車場利用については、満車の時は文化センターの方を案内していますが、どうしても近い方を利用したいという心情がありますし同じ駐車場利用のお客様になりますので、ご理解していただきたいなというふうに思っております。初めての試みですので広がったことでどのようになるかというのを見させていただきたいなというふうに思います。

【農林水産部長】

漁場再生については、継続してやってきているところですが、今後も継続をしながら、効果が出るようにやってきたいと思っております。地域だけでなかなかできない部分もありますので当然県と連携をしながら事業継続を含めていろいろ対応しております。またご意見等があれば直接対応させていただきます。